

与那原小学校 第3回学校運営協議会【議事録】

【与那原小学校 CS テーマ】

学校・保護者・地域と連携した子どもの居場所づくり
～学校と地域でつくる安心・安全な学校をめざして～

期 日:令和7年 9月17日(水) 9:30～11:30

場 所:コミュニティールーム

【会順】

- (はじめの挨拶) ・出席確認
- (参 観) ・各教室にて授業参観
- (振り返り) ・参観しての振り返り
- (報 告) ・学力向上推進計画について
 - ・校内研修について
 - ・働き方改革アンケート結果
 - ・CS 委員の方からの意見
 - ・意見交換
- (おわりの挨拶) 次回の日程確認

【授業参観振り返り】 ＊各員からのご感想

- ・校舎老朽化、トイレ、衛生面で課題を感じた。子ども達はとても素直で特に 1 年生の子たちに癒やされ、子ども達は良い経験をしていると感じた。
 - ・全体的に落ち着いている。学習面でも真剣に取り組む姿が見られた。
 - ・知的、情緒学級とも一人一人にあった学習環境づくりが整えられていてよかった。
教職員の楽しむプライベート時間においては、責任感の強さから任せるときは任せていくという意識改革、自分の心のコップを満タンにする練習が必要かんと感じる。
また、自分軸がないと表現ができないのでセルフコミュニケーション(自分と向き合う)研修など学び経験する機会も必要かな。
 - ・与那原東小職員との研修や、地域巡り研修など学びを、動きのある楽しむ研修とても良い取組と感じた。
先生方の教材研究の時間は負担なのでしょうか？
- ⇒校長：児童の学習評価に対しての説明責任、子ども達の成長の変化を見取るためにはしっかり授業づくりに時間をかけるという作業は必要になってくる。
- ・研究と実践の棲みわけは必要かと感じた。

⇒校長：人員不足が課題となっているので、魅力ある学校づくりに努めていきたい。

- ・特に小学校 6 年のリレーの順番をきめる授業で女の子がしっかり理由を伝え説明している場面、コミュニケーション能力の高さを感じた。一つ一つの行事においてもその行事を成功させるための下積み、行程を大切にしていくことで変化していくと思う。
- ・校舎が古く、修繕・改築において、町への訴えも必要。
- ・1 回目の CS 会議の時、挨拶において返す子と返さない子もいる等課題があると伝えたが、こちらが何回も挨拶、見守りをしている姿をみせることで子どもも変化し、挨拶をかえしてくれるようになったと感じる。
- ・子ども達の様子は落ち着いているように見えた。
- ・子どもの移動ができない等、教育環境格差があってはならないよう行政にも訴えていかなければならない。今は改築先延ばししている状況。
- ・子ども達は落ち着いている。
- ・老朽化についてはどうなっているか？
- ・水問題についてはどうなっているか？
- ・耐震強度が気になるので何らかの対応策が必要であり、命を守るためにしっかり対策していく必要がある。
- ・人とのコミュニケーション能力の育成が気になる。
- ・幼稚園の運動まつりにおいては、場作りも自分の力で考えながら、これから大人になっていく上で、必要な力を身につけさせていきたい。
- ・小学校の授業時数の削減は必要不可欠。今後専科を増やしていきたいが、なり手不足に課題があるので魅力ある学校作りに努めたい。
- ・トイレの衛生管理面で課題がありサンポールをまく等取り組んでいる。
- ・ガジュマルの伐採
- ・あいつ運動においても引き続き継続して取り組んでいく。

【学力向上推進計画・校内研修について】

本校が目指す自立した学習者の姿

- 1 人 1 人が自分の考えを持ち、友だちとの交流を通して自分の考えを広げ、深めることができる児童を目指して取り組んでいる。
- 推進体制（学力向上推進プロジェクト部会・夢創造プロジェクト部会・体力健康安全プロジェクト部会・健やかプロジェクト部会）プロジェクト部会で提案、検討し、学年及び学校全体への共通理解を図っている。
- 与那原小学校 PDA サイクルを確立し、校内研修の充実を図っていききたい。
- 与那原っ子「学び」の約束として、本校では、身がまえ（学習面）気がまえ（生活面）物がまえ（持ち物）の約束をもとに学習する姿勢づくりを意識しています。
- 今年度の取組みとして、先生方が教師力の向上、指導力の向上を意識を高め、多くの研修会に参加し、日頃の授業に生かすように取組みました。

【働き方アンケートの考察について】

【働きやすさ】

- ・本校では、「働き方改革が進んでいると感じる」との意見は多いが、業務時間内に自分のやりたいことがまだ存分にできていない状況がある。
- ・昨年度に比べて、日課表や週時程、年間計画等の見直しが図られており、見通しを持つ時間ができるようになってきたが、まだ、教材研究の負担が軽減されていない面も見られる。

【働きがい】

- ・児童からの相談に対応できており、保護者との連携も図られてきているが、児童との会話や遊びを通して、児童の良さ（評価）を見とれていない状況がある。
- ・国語アドバイザーの指導により、教材研究に集中して取り組めるようになっており、良い改善が見られる。

【心身の健康】

- ・私生活においては、食事は摂れているが、時より睡眠が浅く元気が出ない状況がある。